

# きたすま

わたしが命じるとおりにあなたたちの神、  
主の戒めを守りなさい。(申命記4・2)

No.218(9月号)

2021年 8月 29日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1  
発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 赤いバラの悩み

グイノ・ジェラルド神父

ステファノスというギリシャ人はアテネの近くで一匹のロバと一緒に住んでいました。若い時、父から譲り受けたこのロバはとても強かったので「ヘラクレス」というギリシャ神話の有名な勇士の名を付けました。ステファノスは、このロバを自分の子供のように大切にしていました。しかし年が流れ、ある日このロバは老衰で死にました。悲しみに打ちひしがれたステファノスは、大好きなロバのために立派な墓を作りました。墓は小さな丘の形をしていて、丘の上にヘラクレスの像が置かれていました。そしてヘラクレスの像の周りに、ステファノスは赤いバラの木を植えました。毎日、仕事が終わってからステファノスは墓のそばに座って綺麗に咲いている赤いバラを眺めていました。

近所の人々はこの墓をしばしば見に来て、ステファノスに話しかけ、ヘラクレスが生きていた時のことを話して昔を懐かしんでいました。特に皆は墓の赤いバラの美しさについてよく話していました。アテネの都を訪れる観光客たちは、ヘラクレスの墓に植えられている赤いバラの美しさを聞

いて、写真を撮りに来ました。そのためにヘラクレスの墓はあつという間に話題となって、村の評判は高くなりました。

ステファノスは、このヘラクレスの墓を丁寧に掃除しながら赤いバラの木を大切に手入れしていました。ある日バラの木の根元に大きなヒキガエルが住んでいることに気づきました。この気持ちの悪いヒキガエルの色と大きな目は、きっと訪れる見物人を恐れさせるとステファノスは考えました。このヒキガエルのせいでヘラクレスの墓の評判も悪くなると思ったステファノスは、このヒキガエルを殺してしましました。



ところが暫くすると墓の赤いバラは美しさを失い始めました。先ず、バラの葉っぱが傷み枯れ始め、ついにはバラの花びらも落ちてしまいました。

すると、あっという間にヘラクレスの墓の魅力的な美しさは消えてしまいました。大きなショックを受けたステファノスは、理由が理解出来ずに呆然として打ちひしがれていました。そんなある日、村の司祭がヘラクレスの墓の近くを偶然通り過ぎました。バラの木の状態を見て、彼はステファノスに言いました。「このバラの木はたくさんのアリと毛虫に覆われていますね。このバラの木の近くにヒキガエルを置いてやれば、バラは元気になるに違いありません。というのも、私の司祭館のバラは三匹のヒキガエルのお陰でとても綺麗ですから。良かったら一度見に来てくださいなあ。私の所には3匹のヒキガエルが居ますから一匹差しあげましょうか。きっと、あなたの赤いバラも美しく咲くと思いますよ」。それを聞いたステファノスは自分のおかした過ちを認め、司祭の勧めに従いました。すると、司祭が言った通りヘラクレスの墓のバラはもう一度綺麗な赤い花を咲かせて、村の評判を取り戻しました。やがて以前のように見物人たちも戻ってきました。



暗闇があるから、花火の光は美しくなります。動物のフンで作った肥料のお陰でおいしい野菜や果物を収穫す

ることができます。薬が苦いからこそ体が回復できます。往々にして私たちは気持ちの悪いもの、汚いもの、見たくないものを見て、そのものが存在する役割を考えずに、それをなくそうとする傾きを持っています。



聖書は悪いものから良いものが出る事実を正しく教えています。「この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものをないものようにするため、無に等しいものを選ばれたのです。これは、神の御前でだれをも誇らせないためです」(参照：1 コリント 1,28-29)。「十字架の愚かさは神の知恵を現しました」(参照：1 コリント 1,18)。またヤイロの娘の死(マルコ 5,41-42)、ナインのやもめの息子の死(ルカ 7,10-15)はキリストが命の主であること啓示しました。神は悪を善にかえます(参照：創世記 50,20)ので 醜(みにく)いものを通して示されている素晴らしさや美しさを発見する恵みを願って、絶えず神に感謝しましょう。

## 寄稿

## 昼間の星 (8)

マリスト修道士会 吉田 治美

私には三歳年下の妹がいた。結婚していたが主人とうまくいかず、一歳の男の子を抱えて家を飛び出して来た。男の子は母の許に預けたが、幼い子をいつまでも母に預けておくわけにはいかない。母は一年半後に亡くなった。子供と二人きりになった妹は仕事を見つけないならならぬ。妹は姉夫婦の所へ相談に行った。姉の主人と三人でじっくり相談の結果、男の子は姉夫婦の家に養子として引き取られることになった。子供のなかった姉は喜んで面倒を見た。ずっと話が後のことになるが、姉夫婦は男の子を小・中・高・商大(二年)、就職、結婚まで面倒を見てくれた。一人になった妹は、熊本市内の大きな旅館に仲居さんの仕事を見つけた。体は丈夫、明るい、てきぱきした性格の妹にはうってつけと、本人は喜んで勤めることになった。

三十年余り働いている内に、仕事で時々宿泊していた Mさんと親しくなり、やがて Mさんと結ばれた。私は一度妹と Mさんの家に夕食に呼ばれたことがある。明るい善い人柄の方と思い楽しく過ごして来た。ただ後で妹に籍のことを聞くと、Mさんはその内にとっている、というのがやや気になっていた。あまり介入するとややこしいことになるかと思っている内に二、三年経った。Mさんが入院したと妹から電話があった。肝硬変がかなり進ん

でいるという。病院は市内なので、私は時折見舞に行った。或る日、婦長さんが用紙とペンを持って来て、いくつか質問をしては書き込んでいたが、「お宅の宗教は何ですか」という質問に Mさんは言葉を絞り出すように、「カトリックです」と答えた。すると婦長さんが「あら、私もカトリックです」と言う。Mさんは告解をしたい、すぐ手取教会に連絡してください、と婦長さんをお願いし、急いで来られた神父さんに Mさんは告解をした。長いこと担っていた心の重荷をすっかり下ろして、神父様が帰られた後、Mさんは妹に事情を話し、妹に心から赦しを願った。Mさんは長崎のカトリック信者であった。

その後、相手方に連絡し、Mさんと長らく別居の関係にあった奥さんと、長男の方が来られて、Mさんたち三人でいろいろと話し合った。妹はすべて先方に任せて自分は身を引いていた。葬儀は長崎で、Mさんが亡くなるまで、妹と私がMさんを最後まで看取った。告解をして長いこと担いでいた荷を下ろした Mさんの死は実に安らかであった。

妹はすぐさま住まいを捜しにかかり、熊本市北の郊外の市営アパートに引っ越した。最上階の五階でエレベーターもない。妹は意に介せず、さっさとそこに決めた。熊本市南の郊外の養

子先までは車で一時間以上かかる。行きも帰りも簡単にできないことは承知の上だ。アパートは三棟あり、多くの民家もあるので、大きなスーパーもあり、すぐその隣に市バスの終点、発着所があり、市内の中心まで30分、料金は270円、そこで降りて三分も行くと手取教会だ。

妹はすぐさま教会に行き、カテキスタのシスターから教理を学び、終わって洗礼を受けた。その後もシスターの信仰講座などがあるといつも受けていた。数年後には三人の神父様方の食事のお世話も二、三年させていただいたことがある。シスターも時折妹のアパートまで訪ねて来てくださった。養子にやった息子も夫婦で年に一度、車で一時間以上かけて訪ねて来るようになった。この五階の部屋で二十年を一人で過ごして来た妹は、少しも淋しい、とか愚痴をこぼすのを聞いたことがなかった。

八十を過ぎた頃、妹が部屋の中で何かに躓いて倒れて動けなくなり、息子に電話連絡をして病院で診察の結果、圧迫骨折ということで、近くの病院に入院した。他にも悪いところが見つかった。見舞に行くと、四人部屋で辺りは人も多く何となく落ち着かない。私は神戸に帰る前に手取教会の案内所に立ち寄って案内所の方と立ち話でそんな話をしていると、後ろから声をかけられた。シスターが二人おられ、一人が「御こころ病院の院長ですけれど、うちで一人部屋が空きましたら妹さんをおあずかりしましょうか」と言われた。これには驚いて、よろしくとお願いしておいたら、数日後にはもう

それが叶った。シスター方に看取られながら、一週間ほどお世話になりつつ、妹は亡くなった。葬儀ミサは夕刻、手取教会で行われた。姉はすでに亡くなっていたが、姉の主人、息子夫婦と大きくなった子供たち、シスター方と小さな集いではあったが立派なカトリックの葬儀であった。置かれていた遺影は、いつもの明るい笑顔であった。御棺は信徒会館の広い畳の間に置かれ、私が一人、妹の横の床で休んだ。洗礼を受けた後の人生の後半を、妹は善きカトリック信者として送ったと思う。

その後分かったことだが、妹は仲居さんの仕事をしていたとき、給料の大部分を倹約して長い間貯めておいたかなりの金額のお金を、養子にやった息子たちに残してあった。ずっと息子のことを考え、祈っていたのだと思う。妹の霊名はモニカであった。

私には実はもう一人の妹がいた。一歳の時に亡くなった。赤い晴れ着を着て、にこにこしている写真と、母がその子を両手に抱いてその顔を見つめているのを、背後から誰かが立って見下ろしながら撮った写真、この二枚の写真がどこかにあったのは、私の記憶にある。まだ小学生だった私には妹のことはそれくらいの記憶しかない。あわただしい引き揚げであった。お墓がどこにあるのか、戻って調べることもできない。しかしこの妹には天国で会える。兄弟姉妹の中で、ただ一人、お互いに話したこともない、それだけに会うのを一番楽しみにしている。

家族のことを、自分のことも含めて、一人一人について書いていくのは実

に恥ずかしいことだが、臆せず書いた。前に少し載せた、毎日の黙想からの一節を、少し加えさせて載せたい。

「私たちの人生を振り返ってみると、その一步一步について、神が完全な目的と計画をもっておられたことが、よくわかってくる。

あなた自身や、あなたの愛する人々の人生に起こったいくつかの出来事を、折に触れて振り返ってみることは、とても価値のあることだ。これらの状況を通して神がどのように働いておられたかを、私たちは理解するようになる。」



2021 年大阪教区平和旬間共通テーマ

## 誰も置き去りにしない世界へ

日本のカトリック教会は毎年 8 月 6 日から 15 日までを「平和旬間」と定め、平和のために祈る時としています。今年のテーマ「誰も置き去りにしない世界へ」を実現するためには、自らが「平和の道具」となることが大切です。

### 平和を求める祈り

神よ、わたしをあなたの平和の道具としてお使いください。  
 憎しみのあるところに愛を、いさかいのあるところにゆるしを、  
 分裂のあるところに一致を、疑惑のあるところに信仰を、  
 誤っているところに真理を、絶望のあるところに希望を、  
 闇に光を、悲しみのあるところに喜びをもたらすものとしてください。

慰められるよりは慰めることを、  
 理解されるよりは理解することを、  
 愛されるよりは愛することを、わたしが求めますように。

わたしたちは、与えるから受け、ゆるすからゆるされ、  
 自分を捨てて死に、永遠のいのちをいただくのですから。

アッシジの聖フランチェスコ



お知らせ

評議会より

ホール冷房設置の件  
(説明会の開催)

先日、ミサ後のお知らせや、広報紙“きたすま”でご紹介の通り、教会1階のホールに冷房用のエアコンを設置することについて、実施に向けて検討を始めようと考えています。

エアコンの設置は以前から要望のあった案件で、7月に前評議会から引き継ぎを受けました。1階ホールにエアコン2機を設置し、外気の侵入を防ぐために玄関の内側にパーティションを設置して、冷房効率を高めようとするものです。

しかしながら、本案件については、これまで信徒の皆さまへの周知、ご説明ができておりません。

そこで、実施に入る前に信徒の皆さまへの説明会を開き、広くご意見を伺うことを考えております。日曜ミサ後の時間を考えておりますが、日程については、準備が整い次第お知らせいたします。

典礼委員会

9月26日ミサ後に典礼委員会を開きます。ご予約ください。

墓地委員会

11月7日に予定していましたが今年度の神戸地区合同追悼祭は新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、中止となりました。

小教区やご家族単位での墓参などは問題ないとのことですが、密にならないようご配慮ください。詳細は、「2021年度神戸地区合同追悼祭」の案内を、ホワイトボードに掲示していますのでご覧ください。

物品寄贈のお願い

NPO フリーヘルプより物品寄贈の依頼がありました。

フェイスタオル、男性肌着(上)、Tシャツなど。タオルは使用されたものでもかまいません。期限は9月～10月末まで。教会入り口の箱へ。

ご協力よろしく申し上げます。詳細はUNさんまで。



## ミサローテーション (9/19-10/31)

		9/19	9/26	10/3
1地区	<b>削除・訂正</b>	○		
2地区				○
3地区			○	
4地区		○		
5地区		○		
6A地区				○
6B/7地区			○	

- ◇ 緊急事態宣言発令により8/20～9/12の間のミサはありません。
- ◇ 大阪教区からの新しい通達がくるまでこのローテーションでお願いいたします。
- ◇ ミサに与る時はマスクを着用し、手指の消毒に心がけてください。
- ◇ 『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。
- ◇ 体調がすぐれないときは無理をしないでください。

新型コロナウイルス感染症にともなう措置 (第 15 次)

[http://www.osaka.catholic.jp/c\\_oshirase\\_bun2021.html#210818](http://www.osaka.catholic.jp/c_oshirase_bun2021.html#210818)

### 編集後記

下記は、8月22日のイグナチオ教会のミサでのお説教の冒頭です。

「皆さんは、また隠れキリシタンになりましたね。ここは誰もいません。ほとんど誰もいません。皆さんが新型コロナウイルスの迫害を受けて、また隠れキリシタンになりました。では隠れキリシタンと同じように信仰を保って、信仰をより深めましょう。どこにいてもどんな時にもキリストのようにキリストとともに生きて、より深い信仰を求めて、また1日も早くもう一度ここに来て、この主聖堂をいっぱいいっぱいにして下さい。」

こんな時期だからこそ、キリストとともに生きて、より深い信仰を求めていきたいです、皆さんと一緒にミサに与れる日まで、元気に過ごしたいと思います。(M.M.Y)

# マンスリースケジュール9月

2021



日・曜日

- 1 水
- 2 木
- 3 金
- 4 土

**5 日** 年間第23主日

- 6 月
- 7 火
- 8 水
- 9 木
- 10 金
- 11 土

**12 日** 年間第24主日

- 13 月
- 14 火 十字架称賛
- 15 水
- 16 木
- 17 金
- 18 土

**19 日** 年間第25主日 ミサ10:00～

第1・4・5地区

- 20 月 敬老の日
- 21 火
- 22 水
- 23 木 秋分の日
- 24 金
- 25 土

**26 日** 年間第26主日 ミサ10:00～

第3・6B・7地区

- 27 月
- 28 火
- 29 水
- 30 木
- 1 金
- 2 土

**10/3 日** 年間第27主日 ミサ10:00～

第2・6A地区

注) 9/12まで緊急事態宣言が発令されていますので、5日と12日の公開ミサはありません。  
再開時については、連絡網にて連絡があります。



カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。